

第 27 回基準諮問会議

2016 年 7 月 4 日、財務会計基準機構（FASF）において第 27 回基準諮問会議（議長 野崎邦夫 住友化学(株)代表取締役 専務執行役員）を開催し、審議が行われました。詳細な内容については、財務会計基準機構ホームページ（https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/standards_advisory/）にて「議事概要」を公開していますのでご覧ください。

（審議事項）

1. テーマ提言について

(1) 前回（2016 年 3 月 4 日）までの基準諮問会議における提案について

前回までの基準諮問会議における提案について、基準諮問会議事務局より対応の状況が説明された。

続いて、前回の基準諮問会議で提案された「『経営者が会計方針を適用する過程で行った判断』及び『見積りの不確実性の発生要因』に関する注記情報の充実」の検討状況について、事務局より説明が行われた。本テーマについて、重要な情報開示であるとの意見がある一方で、開示を検討するにあたって慎重に対応すべきとの意見等が出された。これらの意見を受け、議長より、次回以降の基準諮問会議において、新規テーマの提言を行うか否かについて決定したい旨の発言がなされた。

(2) 新規テーマ提言について

前回の基準諮問会議で提案された「子会社、関連会社株式の減損とのれんの減損の関係」について、企業会計基準委員会（ASBJ）小賀坂副委員長より、実務対応専門委員会における新規テーマの評価の説明がなされた。その後、事務局より、当該評価を踏まえ、新規テーマとして ASBJ に提言する旨の対応案の説明が行われた。

基準諮問会議委員の意見を受け、議長より、事務局の対応案どおり、ASBJ の新規テーマとして提言する旨の発言がなされた。

(3) 今回の提案について

今回の基準諮問会議に寄せられた新規テーマの提案「マイナス金利に係る種々の会計上の論点への対応」について、事務局より新規テーマの内容と対応案の説明が行われた。

基準諮問会議委員の意見を受け、議長より、現状を鑑みて、基準開発の要否及び時期について ASBJ に判断を委ね、適時に対応を図るということを依頼する旨の発言がなされた。

2. 中期運営方針について

ASBJ 小賀坂副委員長より、中期運営方針についての詳細な説明が行われた。

その後、基準諮問会議の委員より意見が出された。

3. ASBJ の最近の活動状況について

ASBJ 小野委員長より、ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われた。前回の基準諮問会議以後の活動の状況として、現在開発中の会計基準に関する今後の計画及び国際的な意見発信の状況等についての報告を受けた。

基準諮問会議の委員からは、特に意見は聞かれなかった。